

令和6年10月1日

田口町自治会会長 岸 秀喜

田口町社協会長 岩崎捷男

猛暑の日々も和らぎ、田んぼ道の土手に彼岸花が揺れているこの頃、皆様には如何お過ごしでしょうか。田口町社協では定期的に情報交換会(1回/3ヶ月)を行っていますが、9月会合で話題となった内容について以下にお知らせ致しますと共に安心・安全な町づくりの一助にと願っています。

1. 一人暮らし高齢者見守り訪問活動の中で下記の様な事例(情報)がありました。
 - 1) 自宅近くの菜園で倒れている人を近所の方が発見し近くの老人施設へ連絡(相談)したところ、看護師さんが来てくれ、施設へ移動し看病の結果無事回復したとの事。
 - 2) 道端でうずくまって居る高齢者を、通り掛かった方が見つけ声を掛けたが応答がはいまいの為、本人へ救急車を呼びましょうかと確認したら・・・お願いとの返答で“119番通報”し救急搬送され3日程の入院で退院されたとのこと。

2. お願い

上記2例では、発見者(遭遇者)の方が、声掛けと共に適切な連絡(通報)を行って頂いた結果、大事に至らずに済みました事を皆様と共に実感し、さらなる安心・安全な田口町づくりのために以下の活動を提案し、ご協力をお願い致します。

- 1) 道端や畑等で倒れている(苦しそうな)人を見かけたら、声をかける。状況により“119番通報”をする。場合によっては近くの上武病院、循環器病院、高齢者施設(セジュールの丘:1組、こころや:5組、花の郷:40組、幸福:17-2組、ひまわり:関根町)等への相談も有効です。

※ 自分が大変な時は、自分から“助けて”と発信して下さい。

- 2) 継続的な支援が必要と感じたら“包括支援センター(せきね園内:235-3577)”、担当ヘルパーへ相談して下さい。(自治会、民生委員等への相談でも包括支援センターへ繋いでくれます)
- 3) 電動車椅子(シニアカー)の利用について、利用者条件(介護認定、要支援等より)が合えば月毎のレンタル利用が出来るとの事ですので、希望される方はケアマネジャー、ヘルパーさんへ相談して下さい。
尚、電動車椅子(シニアカー)は車から見えにくいので、夕暮れ、夜間の利用は控えて下さい